

(令和5年7月5日)

令和4年度経営発達支援事業の実施結果について

令和2年3月16日に国から5年計画の認定を受けた本所の「経営発達支援計画」(認定期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日)の3年目の事業実施結果について、外部有識者による評価委員会を開催し、評価を受けた。結果については以下の通り。この評価結果に基づき、令和5年度からの実施事業の強化・改善を図ることとする。

〔評価委員会〕

■ 開催日時

令和5年5月29日(月) 14:00～16:00

■ 場 所

広島商工会議所 会議室

■ 評価委員

(委員長) 山本 公平 氏 大阪経済大学 情報社会学部 教授 (中小企業診断士)
(元 広島経済大学 経済学部 教授)

(委 員) 中谷 有希 氏 中谷公認会計士事務所 代表 (公認会計士・税理士)
秋井 正宏 氏 価値組思考コンサルティング 代表 (中小企業診断士)

(共同申請者) 尾中 健二 氏 広島市経済観光局産業振興部 商業振興課長【オブザーバー】

■ 評価方法

事務局からの事業実施報告(資料1)を説明後、評価基準(資料3)に基づいて、各委員が事業ごとの評価を行った。

《評価基準》

各項目を、定量・定性別にA(4点)～D(1点)の4段階で評価。
全項目の平均点数の合計によって、S、A、B、C、Dの5段階で総合評価を行う。
S(54点以上)、A(48～53点)、B(42～47点)、C(36～41点)、D(36点未満)

■ 結 果

	事業項目	定量評価 (平均)	定性評価 (平均)	合計 (平均)
1	地域経済の動向調査に関すること	4.0	4.0	8.0
2	経営状況の分析に関すること	4.0	3.7	7.7
3	事業計画の策定支援に関すること	4.0	4.0	8.0
4	事業計画策定後の実施支援に関すること	4.0	3.7	7.7
5	需要動向調査に関すること	2.0	2.3	4.3
6	新たな需要の開拓に関すること	2.0	2.3	4.3
7	地域の活性化に資する取り組み		2.3	2.3
8	支援力向上のための取り組み(地域連携等)		4.0	4.0
9	経営指導員の資質向上等に関すること		4.0	4.0
	合 計	20.0	30.3	<u>50.3</u>

総合評価・・・A評価(50.3点) 前回はS評価(54.7点)

〔ご参考〕（これまでの総合評価）

令和 3 年度：S（54.7 点）、令和 2 年度：A（53.6 点）、令和 元年度：S（54.4 点）、
平成 30 年度：S（55.0 点）、平成 29 年度：S（55.7 点）、平成 28 年度：S（56.0 点）、
平成 27 年度：A（53.8 点）

■ 評価委員からの主なコメント

〔地域経済の動向調査〕（項目 1）

- ▶ 賃金引上げに関する緊急調査は、県内企業の賃上げの意向や対応状況等について把握し、企業の経営実態に即した対策において役立つもので、非常に評価できる。

〔経営状況の分析〕（項目 2）

- ▶ コロナ禍での事業者ニーズに沿ったオンラインセミナーの実施や、受講者アンケートの満足度の結果は高く評価できる。
- ▶ コロナ禍において、巡回支援から窓口支援を強化し、小規模事業者持続化補助金等申請支援（541 件）や、その採択率（採択平均値）の高さは評価できる。

〔事業計画の策定支援〕（項目 3）

- ▶ 事業計画策定セミナーは、前年度からの改善点で、オンラインでの参加をすすめ、集客がはかられた。受講者からのアンケートの満足度も高かった。
- ▶ 事業引継ぎ・承継支援は、県内全域を対象にきめ細やかな支援体制の構築で、目標値を大きく超える成果は非常に高い評価ができる。

〔事業計画策定後の実施支援〕（項目 4）

- ▶ 事業計画策定後のフォローアップ支援は、目標値も達成し、フォローアップ内容も経営指導員がしっかり伴走し確実に実行されている点は評価できる。

〔需要動向調査〕（項目 5）

- ▶ コロナ禍で令和 3、4 年度はビジネスフェアが実施されなかったことは非常に残念ではある。未実施ということで、当該評価は致し方ない。
- ▶ 需要動向調査事業の個社支援においては、支援後に変化した具体的な内容がわかればよかったと思う。

〔新たな需要の開拓〕（項目 6）

- ▶ 新たな需要の開拓に寄与する事業については、コロナ禍での事業中止は仕方ないが、実施できた事業については、参加者、成果も概ね目標値を達成できていた。今後も引き続き成果が出るよう取り組んでいただきたい。

〔地域の活性化〕（項目 7）

- ▶ 体験型修学旅行事業や、ひろしま夜神楽等の地域活性化事業がコロナ禍で縮小しての実施はやむを得ない。広島市への入込観光客数の修学旅行生の回復もあったことから、徐々に良化していく傾向と捉えることができ、今後も地域の活性化のため、業実施に尽力していただきたい。

〔地域連携等〕（項目 8）

- ▶ 他の支援機関との連携会議や事例発表会等は概ね実施できたことから、今後も連携強化による相互の情報共有を図り、支援力の向上に努めていただきたい。

〔経営指導員の資質向上〕（項目 9）

- ▶ 研修内容は、事業者支援に対応できるカリキュラム内容を取り入れており、計画されていた事業は概ね実施され、評価できる。

◇ 最後に、令和 4 年度を含め過去 8 年間の実施事業を踏まえ、常に P D C A サイクルを意識し、小規模事業者役に役立つ事業推進を期待したい。